

旧石器ハテナ館だより

せんとうき  
**尖頭器**



尖頭器とは、主に旧石器時代に使われた狩猟具です。

旧石器ハテナ館  
(史跡田名向原遺跡  
旧石器時代学習館)  
神奈川県相模原市中央区  
田名塩田 3-23-11  
042 777 6371  
平成 25 年 9 月 20 日  
【第 20 号】

# 「夏休みの思い出」特集!

旧石器ハテナ館で夏休み中に開催したイベントの中から、8/25(日)に開催した「夜の昆虫観察会」と、8/31(土)の「旧石器ハテナ館まつり」の様子を紹介します。

## 夜の昆虫観察会 in 田名向原

今年は、普段は入ることのできない夜の遺跡公園で、遺跡だけでなく自然にも親んでもらえるイベントを開催しました。「さがみはら水生動物調査会」のみなさんによる指導のもと、光に集まってくる虫たちを観察し、夜の旧石器ハテナ館と遺跡公園を楽しんでいただくことができました。



旧石器ハテナ館の周りは、相模川をはじめとする豊かな自然が今もたくさん残っている所です。その中には、普段はあまり気づかない小さな虫たちもいます。そこで、遺跡公園の照明を消して、白い幕を張りライトを当てる「灯火採集」という方法で、芝生広場に集まってきた様々な昆虫を観察しました。調査会の方が用意してくれた水生昆虫の幼虫の写真と見比べたりして、子ども達はもちろん大人も興味津々でした。

3回に分けて行った「昆虫観察ツアー」では、講師の守屋博文さんの先導でハテナ館や遺跡公園の周辺をまわり、鳴き声などを頼りに虫の姿を探したり、夜になって活動し始める生き物を観察したりしました。ちょうど地中から出てきたばかりで、羽化のための安全な場所を探す蝉の姿も見ることができましたよ。

旧石器時代の人たちも、自然と親しみながら上手に共存していたのかもしれないね。





# 旧石器ハテナ館まつり

今年3回目となるハテナ館まつりは、初めての夏の開催となりました。とても暑い日でしたが、夏休み最後のイベントを楽しむ人たちで、開始時間前から各コーナーの前には長い行列ができるほどの大盛況でした。その中から、いくつかご紹介します。



石蒸し料理 朴葉に包んだ食材



焼いた石を穴の中へ



蒸しあがり！

まずは恒例の石蒸し料理です。事前申込はあっという間に定員に達してしまいました。当日は、参加者をはじめとする大勢のお客様が見守る中、無事に蒸しあがり、今年も大成功！おいしくいただきました。

縄文ペンダント作りも希望者が殺到！普段土器作りに使用する粘土に、縄文土器と同じ縄目の文様を付けたりして思い思いの形にしたものを、「土器づくりの会」のみなさんが上手に焼いてくれました。



縄文ペンダント作り

弓矢のコーナーでは通常の的を射る体験に加え、今年は得点を競うコンテストも開催し、上位3名の小学生に賞状と記念品が授与されました。おめでとう！



弓矢のコンテスト入賞者

火おこしは、田名向原遺跡の解説ボランティアの方々にコツを教わりながらのチャレンジです。中には、2分もかからずに火をおこした人もいましたよ。



火おこし

昔あそびのコーナーでは、「白寿会」の方々が作ってくれた竹製の水鉄砲が大人気！暑かったので、みんなとても気持ちよさそうでした。



昔あそび

「ハテナ館と地域をつなぐ会」が青竹を組んで準備してくれたのは、流しそうめんです。子どもだけでなく大人にも好評でした。冷えたスイカやゆでたトウモロコシもたくさん用意してもらいましたが、どれも予想より早く売り切れとなりました。



流しそうめん

この他に、縄文服の試着体験やクイズラリーなども、親子で楽しむ姿が多く見られました。ハテナ館で、夏休み最後の思い出がたくさん作れたようです。ぜひまた遊びに来てくださいね！